とかち新聞
主筆 松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話1351番
本紙購読料 1部25円 1カ月75円 1カ年前納750円

明るい道々の昇格

足寄町議会

10・8統一行動 町教委の内申が問題に

定例第四回の足寄町議会は十二月二十一日午前十時にひらき会期を二日間として、まず理事者側の行政報告とこれにたいする質疑がおこなわれました。

小林町長 白糠線の用地買収の市街地附近の買収は処理委員会、交渉委員会と関係者の協力ですすめており、二十二名が該当し調印までに至らない方は五名あるが煮つまっており年が明けてまとめたい、赤字線撤去勧告の中央情勢は国鉄から公団への出資七十五億円が五十億円になり支障があり政治的解決が必要で国会議員を通じて穴うめしてもらいたいと運動しているが微妙な状勢で強力に運動したい、道々昇格はラワンからオンネトー登山口への併用林道をお願いしているが国道二四一号線と併行しているので難色があるが青年の家があり山水の美のオンネトー地帯の観光路線として道でとりあげて頂き建設省段階へもち込み明年度末までになんとかしてやることになつた、植坂ー足寄停車場線一二キロ八〇〇の道々昇格もお願いし明るい見通しにある

新津教育委員長 先般の議会で地区労から教員の処分をとり止めるようにとの請願を将択されたのでそれを中心に十二月四日に委員会をひらき、請願の内容と考え方に反する個所もあるがその精神を尊重し道へ反映させるために行政機関の手続きをおわり内申書を十日に提出した、方法は全道的に珍しいが町の実状を掌握して副申をつけて提出し、十一日に私達は出札し町教委の委員長として明年度予算をお願いしそのさいあまりひどい処分をしないようにふくめて申しあげた内申が必ずしも処分とならない、処分という表現を使わずに内申した

鳴海議員 国の状勢が変つてきた、こんどの内申は処分と関係ないとのことだがどのような内申か、事実報告の上にどのような副申をつけたか

新津委員長 関連性はあるが内申したから処分とはならない、人事権のある道教委の判断で処分が出されるかもしれないが、なるべ処分を出さないようにとした

岡教育長 全道の視野に立つて適正、公平な判断で処置して頂きたいとの意見を付し参加者一覧表をつけて諒解を願つた、今日のは賃金斗争であるから寛大な措置を議会の意志を尊重して内申した

鳴海議員 内申はおわつたので昨年と同様に戒告と訓告になるのか

岡教育長 現在の行政の筋を通して全道的に公平な措置を、帯広市その他の在り方を掌握して適正で公平であれば止むを得ない、公平を欠いた場合は具申せねばならない、今日の内申は行政の筋を通した

鳴海議員 道教委でなく町教委に質問している、態度を明確にしてもらいたい町の教委は公正にというが実際にはやられる、訓告は町がするがどのように処置するか、八月実施が七月実施と変つた、それは何によつて獲得したか、統一行動によつたものである、斗争に参加したものも参加しなかつたものも支給される、公平ではない

新津委員長 全道的な視野といつたが、町教委は服務を監督する機関で人事は道教委にあり、訓告はその時点で審議して結論を出す

鳴海議員 訓告は町教委の権限で人名は道からくるがその時点で考えるというが出てきたら右ならえしてやるのか

新津委員長 町教委で討議していないので是か否か申しあげられない

伊藤議員 地教委が全道的視野はおかしいのではないか、10・8に参加した一人々々に意見をつけたのか道教委では参加すれば処分の対象となるが、五十人が対象の場合あとの三十名は地教委で処分せねばならない、どう処理するか

岡教育長 全道的視野は精神は人事の公平で地域差のないようにということで九十四名参加したが人物の意見でなく教育長は教委の意見をまとめて一枚に書いた、道教委は九十四名を審査して戒告、訓告があるかもしれないが寛大な措置をお願いした、十勝町村会、教委連もバックアップして昨年のようにカコクなことのないように配慮している

伊藤議員 寛大な措置といつても道教委の判断することで、九十四名のうち道教委の対象とならないものは地教委の対象とするか

岡教育長 地教委の内申権もあり、意見として寛大な措置を願つている、内容は賃金斗争であり一般にあり得るにとで、気の毒であるとして八月が七月となつた、生活権を守る現われで寛大にとした、九十四名の処分は道教委が判断し一応審査の対象となるが、参加しても時間のかかる地域は不利な面もある、九十四名のうち四名が対象となつた場合、九十名は地教委が適切な措置をせねばならないが、それについては教委として別に措置したい

（あとは裏面へつづく）

○…赤字ローカル線で廃止撤去の勧告をうけた白糠線鉄道でありながら足寄町地内の用地買収は着々と進行中で山岸喜一処理委員長、湯浅義雄交渉委員長らの努力もあつて難関の市街周辺の該当者二十二名中十七名が調印をすませたとの小林町長の町議会への報告。

○…それにしても白糠線は本当に着工するのだろうかといぶかる町民の多いのも事実ですが、廃止の勧告をうけたのは白糠ー上茶路間であつて未だに線路のない足寄町側は廃止の対象になる筈はないとしても、鉄道建設公団としてこの客観状勢のなかで敢えて建設への作業をすすめている事実を町民として素直に前向きに受けとめる必要があります

白糠線は着工している

○…このために用地を提供させられる人々にはお気の毒でありそれ相当の補償に万全を期すべきですが、用地買収そのものは工事費にふくまれるので、たとえ現実には線路は敷かれてはいませんが形式的には白糠線はすでに着工しているということです。

○…果して白糠線鉄道は足寄町側に着工するのかどうかという問題ではなくて、この鉄道敷設が足寄町のためにプラスかマイナスかの問題であつて、町村として日本一広面積の足寄として交通網の整備に反対すべき理由はなく、すでに予算的には国費を投じて着工している事実は否定できません

謹賀新年　一九六九年

足寄町

町長 小林弘道
助役 沼田一
収入役 加藤芳弘
総務課長 富田秋雄
開発計画課長 谷忠光
産業課長 小泉鶴夫
社会課長 喜多一男
税務課長 大塚達夫
建設課長 松平京
林務課長 原守郎
水道課長 丸谷彰
住民相談室長 江口健一郎
芽登支所長 斉藤恒次郎
ラワン出張所長 守屋正羊

足寄町議会

議長 大滿弥助
副議長 斉藤昇
総務委員長 宮口政雄
同副委員長 多田梅松
同 委員 大原茂
久保田庄太郎
大野耕太郎
産業委員長 吉田吉之助
同副委員長 斉藤祐一
同 委員 山内義雄
遠山謙
神本三也
青木収
文教委員長 鳴海一郎
同副委員長 香川博彦
同 委員 加藤伊三郎
伊藤義夫
我妻茂治
福本義輝
建設委員長 矢野寛一
同副委員長 新沼芳雄
同 委員 大久保繁
佐々木政一
多田坂栄
阿部俊夫
事務局長 土田三郎

足寄町監査案員
安久津政人
神本三也

足寄町教育委員会
委員長 新津幸助
委員長代理 三宅隆義
委員 藤村与作
同 大野剛
教育長 岡靖
同次長 木村重雄

足寄町農業委員会
会長 湯浅義雄
会長代理 斉藤祐一
事務局長 川音正義

足寄町消防本部
消防長 小林弘道
次長 野中竹雄

足寄町消防委員会
会長 両角章
ほか委員一同

足寄町消防団
団長 久保与一郎
副団長 庄司博
同 野上浅太郎

足寄町消防後援会
会長 両角章
副会長 鈴木信明
ほか役員一同

足寄町国保病院
院長 須藤一臣
副院長 加賀谷秀天
歯科医長 苗村和夫
産婦人科医長 関谷充
内科医長 佐藤隆次
事務長 鷲岡憲雄

賀正　1909年元旦
株式会社 前田呉服店
足寄駅前 電話二二番

ー去年のニュースからー
拙歌三首（白峰）
余る米統制するなら畑作の
雑穀の価格保障して欲し
教育ママはしつけのママになられた
し　未来をになうわが子のために
衣食足りて礼節を知ることわざも
今は通ぜぬ大学のデモ

新畳 表替 敷物一式 二段ベッド
ふすま張替
中古畳
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前 T四二八

大自然のなかの人工美
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登 T二八五五

不動産についての御相談は
調査 売買 あつせん 管理
分譲 代行 登記 損害保険
代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26号
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目 T三四五

共立チエンソー
景品付大売り出し
共立チエンソーは国産機として素晴らしい性能を発揮しテレビで放送宣伝され当社が数年販売の結果今や世界水準を抜く優良機種でしかも価安品でまさに時下の大衆的な機種として当社が確信をもつてお奨めいたします。
CS-六〇S 五、五馬力 八万二千円
CSL-八〇A 七馬力 八万六千円
ー（中古品在庫豊富）ー
有限会社 鈴木鋸刃物店
足寄町大通り 電話三〇七番